

令和元年度

島根発ヘルスケアビジネス事業化補助金(可能性検証枠)実績報告

ワーキング メンタルヘルスケア プログラム MATSUE



1/f Yoga(えふぶんのいちヨガ)
林 郁枝(はやし ふみえ)

ワーキング メンタルヘルスケア プログラム MATSUE
コンソーシアム設立準備委員会(松江市産業経済部)



2020.03.10

(振り返り:申請時資料)

- 社会的背景
- メンタルヘルス改善に向けた取組み
- 事業概要
- プログラム開発の目的
- 今年度の取組み
- 実証実験について

社会的背景

少子高齢化による労働者の減少・高齢化、生活習慣病等の国民医療費の増加

- ・メンタルヘルスの問題などにより「不健康によるコスト」が拡大国や企業の競争力への影響
- ・国の成長戦略である「日本再興戦略改訂2014」にも健康経営の普及、健康投資の促進が明文化
- ・2015年12月よりストレスチェックの義務化（労働安全衛生法）

メンタルヘルス改善に向けた取組み

【教育機関】

- ・メンタルヘルスの問題に対する対応は、早期介入による効果が高い
- ・思春期から青年期にかけては心身の変化が非常に激しく、精神的にも不安定になりやすい時期である
- ・人生早期からの問題発生前を含めた予防的対策において教育プログラムの開発や実施が始まっている

【大学研究機関】

- ・メンタルヘルス予防プログラムの実行可能性に関する研究 同志社大学
 - ・森林浴を利用したIT企業社員のメンタルヘルス対策 旭川医科大学
- その他多数

【事業所】健康経営への取組み

- ・従業員の健康を重要な経営資源として健康づくり推進を「コスト」<「投資」として積極的な取組み
- ・企業が健康増進に取り組む「健康投資」により投資効果を業績向上に繋げていく

【自治体】松江市：健康まつえ21基本計画(健康増進計画)

- ・重点世代(壮年期：働く世代)の健康意識の向上やストレス値の低減を重要視
- ・商工会議所/健康保険組合なども健康経営におけた研修やプログラムを実施

事業概要 ワーキングメンタルヘルスケアプログラムMATSUE (以下WMP)

事業所 (働く従業員) 向けのメンタルヘルスケア(予防/改善) プログラム

働きながら環境や運動による健康状態を知り、健康改善アクションや自分仕事スタイルを発見する健康改善プログラムです。

<可能性検証>首都圏IT企業対象にリモートワークを通じて各バイタルデータ計測と分析を行い次年度のプログラム事業化を目指します。

首都圏の事業所



働く従業員

(2019年はIT従事者を中心に)



健康経営企業としての社員の健康改善/福利厚生として

- ・ 従業員の健康状態の傾向を把握し改善アクションへ
- ・ 地方都市(松江で働く)インターン制度の新規導入(※松江発)
- ・ ふるさとテレワークの推進

キャリア(仕事への向き合い方)や生活習慣をみつめる

- ・ 自分スタイルの仕事の仕方やセカンドキャリアを考える
- ・ メンタルヘルス状態や運動意識を高めるプログラムへの参加

健康都市まつえブランド化(※松江発プログラムを全国へ)

- ・ 松江に来る/仕事をすると元気でクリエイティブな仕事ができる
- ・ サテライト企業誘致やUIターン促進と定着化
- ・ ふるさとテレワーク推進

島根県松江市(5日間のリモートワーク)



普段通りの仕事をしながら運動を定期的に行うことで『環境や運動によるストレス軽減』を実証するために、各種バイタルデータの取得やアンケートによるストレス軽減値を測定します。

ワーキングメンタルヘルスケアプログラムMATSUE

今後のサービス化として健康データの提供も検討

分析検証

分析結果を健康都市まつえのPRとしても活用

①首都圏5日間
通常通りの仕事

③首都圏5日間
通常通りの仕事

②松江5日間
通常通りの仕事

+ヨガなどのアクティビティー
+チームビルディング

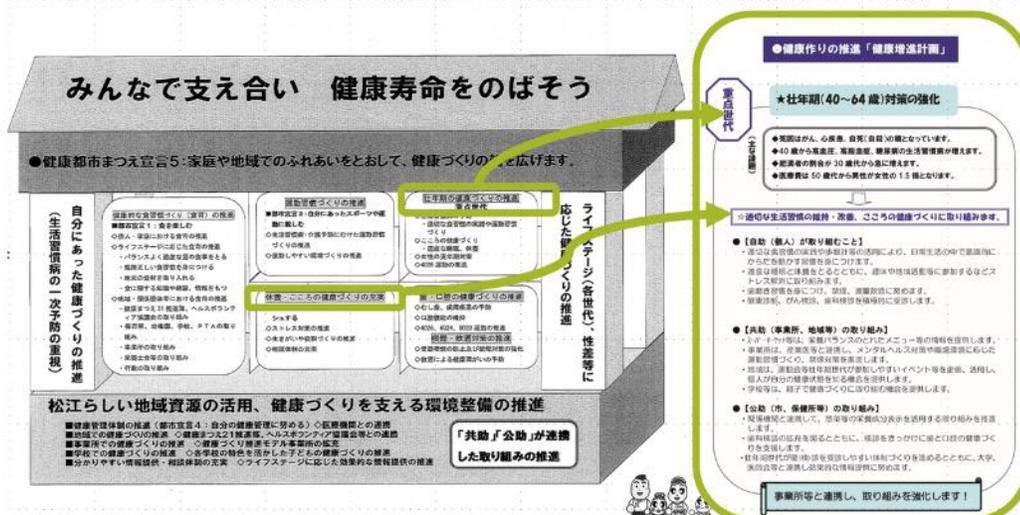


プログラム開発の目的

島根県松江市における課題と目的

健康まつえ21基本計画(健康増進計画)にもとづき、

特に壮年期:働く世代を重点世代として
健康意識の向上やストレス値の低減を重要視している。



👉 **働く世代 事業所向けのメンタルヘルスケア推進**

👉 **健康都市まつえ ブランドづくり『環境や運動によるストレス軽減』**

人口減少や若い世代の雇用創出としてIT人材育成

Ruby City MATSUE プロジェクトを発足し産学官連携の人材育成や企業誘致の推進。インド・ケララ州との経済交流拡大を目指す覚書に調印しIT人材のインターンシップや就職を推進している。

👉 **働く世代 サテライト企業誘致(雇用創出)UIターン促進と定着化**

👉 **地域連携を目的としたCOC+**

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」の実現

今年度の取組み WMPコンソーシアム設立準備委員会を設立

2019年は検証期間として首都圏大都市圏のIT従事者向け
コンソーシアム企業を中心に被検企業で検証

2020年以降は
事業化を前提にIT従事者や首都圏企業だけでなく
地元企業におけたプログラム拡張や展開を検討



ワーキングメンタルヘルスケアプログラムMATSUE

ふるさと納税

企業向けに検証パッケージとして提供

健康管理
サービス

アクティビ
ティー

働く環境
テレワーク推進

企業誘致
UIターン推進

観光・文化

旅行パッケージ
ヘルスツーリズム

食

各企業団体の狙いは次頁にて説明



実証実験（共同研究データ収集や研究結果の検証）
健康経営サービスメニューの検討（プログラム開発・メニュー化）
その他関連サービス化の検討



今後の事業化において新たなパートナー連携なども検討



コンソーシアム設立準備委員会 2019年7月26日設立

実証実験について ① 仮説検証シナリオ

対象被検者(2019年)

首都圏 大都市圏の企業で働くIT従事者
(主に)30-50代、(主に)エンジニアやクリエイター、男女問わず

【仮説検証】働く環境(地域)によるストレス軽減/身体への影響

労働環境の変化および運動実践を伴うワーキングプログラムがメンタルヘルスや身体に及ぼす影響
以下の計測期間にバイタルデータや質問票データを取得しストレス度や身体活動の変化を計測

首都圏(東京) (3週間前/1週間前) 松江 (1週間) 首都圏(東京) (1週間)

働く快適な環境
宿泊施設
アクティビティー
が整備された
松江での実証実験

働く環境

水辺

温泉

湿度

夕日

歴史神話
神社仏閣

働く環境や運動によるストレス軽減

- ・松江滞在(5日間)のリモートワークやアクティビティーなどのプログラムに参加
- ・被検者の各バイタルデータやアンケートによるデータ分析によりストレスや身体への影響を計測

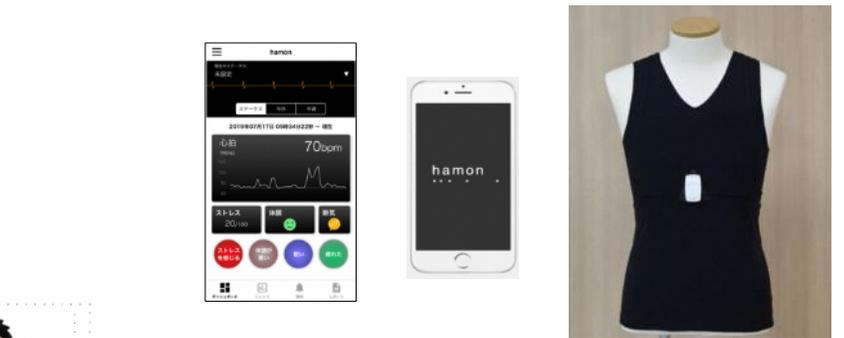
【仮説】松江の滞在中のストレス値が軽減する

適度な運動により身体活動がアクティブになる

実証実験について ②計測デバイス その1

働く環境(地域)によるストレス軽減/身体への影響 メンタルヘルスに及ぼす影響

- 血圧・脈拍計測器
 - ✓ 起床時、就寝時(出社時、退社時)に血圧・脈拍を測定
- 唾液アミラーゼ測定器
 - ✓ 起床時、就寝時(出社時、退社時)にストレス度を測定
- 着衣型ウェアラブル「hamon®」 ミツフジ株式会社様提供
 - ✓ 導電性繊維「AGposs®」の特性をいかし、心拍などの生体情報が取得できるウェアラブル製品
 - ✓ アプリクラウドと連携してリアルタイムのデータを計測・分析可能
 - ✓ 入浴時、就寝時以外常時着用
- 各種問診票
 - ✓ 3-4週間測定前、松江滞在測定終了後、1週間後測定終了後
 - ✓ 問診アンケートによるストレス度合いなどの分析
 - ✓ POMS2短縮版、WHO QOL 26
 - ✓ プログラムの満足度調査

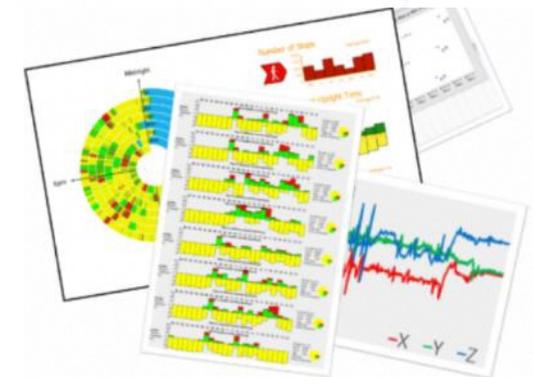


実証実験について ②計測デバイス その1

働く環境(地域)によるストレス軽減/身体への影響

身体活動や座位行動に及ぼす影響

- Active style Pro (オムロン社製、身体活動量計測)
 - ✓ 東京(松江滞在3週間前/1週間前/1週間後の約4日間)
 - ✓ 松江(プログラム滞在5日間)
 - ✓ 起床時~就寝前まで腰の位置に装着つけて通常通り行動計測
 - ✓ 装着のタイミングの時間を各自記録
- ActivePAL (PAL Technologies社製、座位行動計測)
 - ✓ 東京(松江滞在前後5日間)
 - ✓ 腿の前に薄いテープ(防水機能あり)で貼り常時計測
- 各種問診(身体活動の楽しみ尺度)5分程度
 - ✓ 東京(松江滞在前3/1週間前)(松江滞在后1週間後)各1回
- 分析結果イメージ
 - ✓ デバイス装着時を含めた測定期間の24時間の身体活動量の増加や座位行動に変化の測定(座位時間の減少、立位行動への転換の増加など)



実証実験について ③滞在場所 (松江市MAP)

以下①②③④に滞在



実証実験について ③滞在場所（松江市MAP）

①松江市お試しサテライトオフィス



③古民家SUETUGU



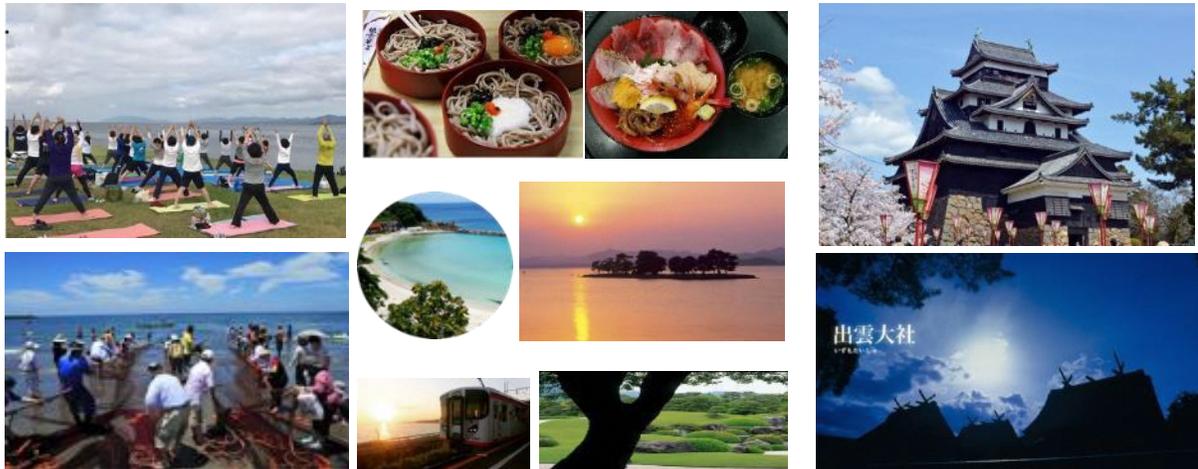
②松江ニューアーバンホテル <http://new.matsue-urban.co.jp/>



④ココリト大根島 <https://www.cocoreto.com/>



その他 観光スポット や アクティビティ



実証実験について ④ プログラムスケジュール例

ワーキングメンタルヘルスプログラムMATSUE 松江滞在日程 (モデル案)															
松江滞在															
日程	11月11日		11月12日		11月13日		11月14日		11月15日						
曜日	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日						
時間帯	内容	場所	内容	場所	内容	場所	内容	場所	内容	場所					
6:00-7:00	移動	ANA381/383 6:50羽田着-8:05米子着 9:35羽田発10:55米子着 JAL277/279 7:30羽田発8:55出雲着 10:15羽田発11:40出雲着	朝ヨガ	宍道湖温泉ホテル			朝ヨガ			ココリト大根島					
7:00-8:00			朝食	宍道湖温泉ホテル	朝食	宍道湖温泉ホテル	境港市場 (朝食)		朝ヨガ						
8:00-9:00			Work	ワーキングスペース SUETUGU	任意(観光) 出雲大社参拝 足立美術館など 昼食	Work	ココリト大根島	Work	Work		朝食				
9:00-10:00											Work	Work	Work	Work	Work
10:00-11:00															
11:00-12:00											Work	Work	Work	Work	Work
12:00-13:00	昼食/オリエンテーション	松江駅前 サテライトオフィス	昼食		Work		Work		WarpUP/昼食						
13:00-14:00	Work	ワーキングスペース 松江駅前 サテライトオフィス	ウォーキング	松江城	宿泊チェックイン	ココリト大根島 近辺	Work	ココリト大根島 近辺	フリータイム 観光プランご提示予定 移動						
14:00-15:00			Work	ワーキングスペース SUETUGU	Work										
15:00-16:00			Work	Work	Work										
16:00-17:00			Work	Work	Work										
17:00-18:00	宿泊チェックイン	宍道湖温泉ホテル	チームビルディング 買い出し/クッキング	コミュニティー ラウンジ SUETUGU	夕食		夕食		ANA386/388 16:55米子発18:25羽田着 20:25米子発21:55羽田着 JAL284/286 16:20出雲発17:45羽田着 19:25出雲発20:45羽田着						
18:00-19:00	マインドフルネスヨガ	水辺(岸公園)	ネットワーキング 夕食		夕食		ネットワーキング 夕食(海鮮BBQ)								
19:00-20:00	夕食				夕食										
20:00-21:00					フリータイム										
21:00-22:00	フリータイム		フリータイム		フリータイム		フリータイム								
22:00-23:00					夜ヨガ										
23:00-24:00					フリータイム										

実証実験の成果報告

- 参加企業（被検者）
- 松江滞在パッケージ内容
- メディア掲載
- プログラムアンケート結果
- 検証結果報告
- 課題や今後の実証実験において
- まとめ

実証実験の成果報告 参加企業(被検者)

参加企業: 9社11グループ(内検証対象8社10グループ)

検証参加者数: 40名(2~11名/社・中央値4名/社)

性別: 男性32名・女性8名

年齢(松江滞在初日時点): 20歳台8名、30歳台12名、40歳台14名、50歳台5名、60歳台1名
中央値 39歳

職種: 技術職14名、営業職15名、管理職4名、デザイナー2名、不明5名

参加企業名(参加日付順): 以下9社

株式会社パソナテック(モニターテストのみ参加)、日本マイクロソフト株式会社
サイバートラスト株式会社、株式会社Misoca、ワークスモバイルジャパン株式会社
株式会社ダंकソフト、ZVC JAPAN株式会社、ヤフー株式会社、株式会社イード

デバイス提供協力企業: ミツフジ株式会社様、サイバートラスト株式会社

モニターテストおよび検証分析サポート企業: 株式会社パソナテック

松江滞在パッケージ内容の特徴

快適に働く・泊まる場所



大根島ゲストハウス：ココリト
古民家ワークスペース：SUETUGU
宍道湖温泉：松江ニューアーバンホテル

アクティビティー



マインドフルネスヨガ・瞑想
宍道湖畔や公園で自然を感じながら朝ヨガ
宍道湖散歩やランニング・サイクリング

松江にしかないサービス要素

地域交流・マッチング



参加企業や地域企業のニーズに応じた
地域ビジネス創出や雇用、人材育成を目的に
地元企業や団体とのマッチングや交流会を企画

地域食材や健康になる食



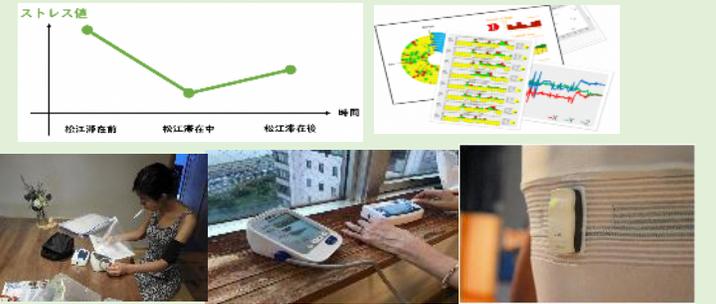
出雲そば、鯖しゃぶ、海鮮丼、カニなど

観光・歴史文化に触れる



出雲大社・美保神社(社ガールガイド付)
由志園イルミネーション・松江城
宍道湖の夕日・足立美術館など

ストレス値の計測・分析



島根大学人間科学部協力によりストレスなどの
バイタルデータ取得による検証

メディア掲載

10媒体に掲載、取材多数

(放映) NHK, BSS山陰中央TV, 日本海TV (新聞) 日本農業新聞, 山陰中央新報, 時事通信, 読売新聞 (大阪)
(Web) Yahooニュース, Internet Watcher, 英字紙 (英文ヨミウリ)

※各記事はメディア掲載資料より一部抜粋: 転用禁止



各被検企業のプレス&ニュースリリース, Blog, 各SNS発信多数



プログラムアンケート結果 その1

アンケート取得のタイミング:以下の①②③のタイミングで記入式

①プログラム参加前(東京など各オフィス) ②松江滞在参加後(松江) ③プログラム参加後(①と同じ)
被検者40名中42名回収 回収率95%

①プログラム参加前(東京など各オフィス)

松江初めて21名

体調は比較的よい16名・体調がすぐれない時がある&疲れていると感じる時がある28名(重複あり)

島根で思い浮かぶもの:出雲大社・松江城・しじみ・しまねっこ・いなか・何もなさそう・特になし

②松江滞在参加後(松江)

プログラム全体満足度: 満足23名・概ね満足14名 (満足&概ね満足37名:89%)

マインドフルネスヨガ満足度:満足26名・概ね満足12名 (満足&概ね満足38名:90%)

ぐっすり眠れた。身体の痛みが消えた。個人の力量にあった指導がよかった。

身体の声に耳を傾けて自然と一体になる感覚が興味深い。継続してみたい。

心が落ちついた感じがしました。呼吸や姿勢がよくなった気がする。

特に印象に残ったもの: 由志園イルミネーション・美保神社 社ガールガイド・ヨガ

満足度高い理由(キーワード):ホスピタリティー・地域関わり・ヨガ・自然・歴史文化・食

プログラムアンケート結果 その2

③プログラム参加後（東京など各オフィス）

テレワーク効果:付加価値や創造性が求められる企画業務がはかどった・特に変化は感じなかった

テレワーク課題:家族の負担が増えた・セキュリティーへの不安・業務効率は上がらなかった

松江滞在の 前 と 後 で印象がかわったこと:

ものすごく心がイキイキした。肌がきれいになった。体調よくなりリフレッシュしました。

始めてきましたがとても上品で素敵な街だと思いました。

山陰というとなんだか暗い（太平洋側に比べて）イメージでしたが、人も太陽もキラキラしていた。

松江を人に薦めたい。松江がぐっと身近に感じる事ができた。

事業化におけたフィードバック:(口頭でのコメント):

- プログラムの完成度が高い(働く場所、宿、ヨガや観光などのプログラム構成など充実している)
- コーディネートや現地でのコンシェルジュ、地域との関わりが重要
- 企業の研修や合宿型目的での地方滞在のニーズは大いにありそう
- オリンピックにおけた準備を企業はまだ真剣に考えていないので事業化ニーズはありそう
- 自社サービスの地域ビジネス参入や人材雇用目的の取り組みのPRとして活用したい
- 研修費としての投資であれば企業側としても取り組みやすい
- その地ならではの特色が重要
(かえられないもの:自然文化歴史 と かえられる(つくりだせる)もの:健康、食、体験など)

検証結果報告 まとめ(抜粋)

詳細は別紙:島根大学人間科学部辻本 健彦先生による実験 結果報告 参照

- 仕事に伴う様々な**ストレス反応は、松江滞在中においてのみ低下する傾向を示した(=ストレス感が弱くなった)**
- **しかし、元の職場に戻るとその効果は減弱した**
 - ・ 松江でのテレワーク特有の効果であり、持続性は弱い可能性が示唆された
- 松江でのテレワーク期間において、**身体活動量が大きく低下したが、こまめに動くような変化がみられた**
- **身体活動に対する印象は変化しなかった**
 - ・ 出勤時間がほぼ存在しないこと、仕事での身体活動を阻害する要因が少なかったことなどが影響している(かも)
- **テレワークを経て、環境領域に関する生活の質が向上した**
 - ・ 「働き方」について考える機会を提供したことで、参加者の周辺環境に対する捉え方にいくらか変化が生じた可能性がある

課題や今後の実証実験において

詳細は別紙：島根大学人間科学部辻本 健彦先生による実験 結果報告 参照

- プログラム終了後におけるストレス軽減効果の残存性が弱いことから、元の職場に戻った後のことも考慮したプログラムが必要
 - 例えば、ストレスマネジメントに関する研修などを含める
- テレワーク中は身体活動量が低下し、長期的には健康への影響が生じることが懸念されるため、運動機会の創出を含めたサポートが必要となる
 - 例えば、アクティビティの時間を増やすなど、20～30分/日程度の運動量を確保するようなプログラム・働きかけを行う

実証実験の成果報告 まとめ

➤ 事業目的や松江市課題にそった検証結果(環境の変化によるストレス軽減)

松江滞在中において**ストレス反応が低下した**

➤ 産学官連携の基盤構築

ワーキングメンタルヘルスプログラム MASTUE(WMP)の設立により松江市や島根大学や民間企業12事業所や団体が**一丸となり目的や課題に応じた実証実験への参加を実現し来年度以降の基盤構築を行うことができた**

➤ 都市部の企業から地方への人材環流の促進(関係人口)

首都圏や大都市圏の知名度のある事業所や団体が被検企業として松江に滞在し**地域資源(食や観光や文化)や地域の人との交流を体感することで松江ファンを獲得**
また、**地元企業との交流を行うことで地域ビジネス創出やデジタル人材の育成や雇用獲得にむけた機会を提供を行うことができた**

➤ 新規事業開発に向けた裏付け

働きながら環境や運動による健康状態を知り、健康改善アクションや自らの仕事スタイルを発見する健康改善プログラムは、**働き方改革や危機管理や健康経営にむけた企業の課題にマッチしており事業性が見込める**

今後の予定

- ワーキング ヘルスケアプログラム コンソーシアム (WMC) 設立
- 新規事業化におけた法人設立
- WMC・新規事業化 今後のスケジュール

ワーキングヘルスケアプログラム コンソーシアム設立

首都圏IT事業者

令和2年度以降の松江市を中心としたコンソーシアム運用体制案

首都圏IT事業者におけた有料サービス(モニターパッケージ)提供開始



ワーキングヘルスケアプログラム MATSUE
コンソーシアム(以下WMC) ※名称変更
2020年4月設立予定



ふるさと納税

福利厚生
サービス
会社など

検証協力

パッケージサービス



LINE WORKS



MITSUFUJI

zoom

work@

新たな事業会社を
設立してサービス提供

上記は2019年度コンソーシアム設立準備委員会員企業様です。
2020年度のコンソーシアム会員企業は今後募集予定です。

アドバイザー

山陰合同銀行



新規事業化におけた法人設立

新規事業会社 ワークアット株式会社 3月法人設立

主な事業概要

- 松江滞在型の宿泊パッケージの開発提供
- その他

今後の実証実験について

- 働く世代のヘルスケア(ストレスや身体活動などの変化など)実証実験の継続
- 今年度の検証課題や企業のニーズにそった検証
- ストレスサイエンスパッケージの開発など

2020年6月よりモニターパッケージプラン提供開始

WMC・新規事業化 今後のスケジュール

2019年度

2020年度



**2019年度
WMP松江
実証実験報告準備**

**2020年度ワーキングヘルスケアプログラムMATSUEコンソーシアム(WMC)
実証実験やサービス化支援**

1月31日(金)

被検企業交流会@東京

3月18日(水)26日(木)

ヘルスケアビジネス事業化(検証枠)補助金報告と事業化申請

3月19日(木)

コンソーシアム準備委員会総会(報告会)

コンソーシアム設立(予定)

5月

WMC事務局設立



3月

コンソーシアム
総会(報告会)

**新規事業会社
WORK@
設立・サービス化準備**

**ワーキングヘルスケアプログラムMATSUEコンソーシアム事務局運営業務
サービス提供松江滞在型パッケージ
2020年度:30社240名**

3月

work@設立

6月

サービス提供開始
コンソーシアム企業受入開始
一般申込開始

12月

WMC事務局
中間報告

ご清聴ありがとうございました。



1/f Yoga(えふぶんのいちヨガ)
林 郁枝(はやし ふみえ)

ワーキング メンタルヘルスケア プログラム MATSUE
コンソーシアム設立準備委員会(松江市産業経済部)



2020.03.10

(参考資料)

取扱い注意無断コピー配布厳禁

work@

～今この瞬間を大切に作る働き方～

事業計画書（抜粋）

ワークアット株式会社 設立準備室 作成

2020.03.10

事業の目的

働き方やマインドを変えることで、事業所や団体の生産性向上やブレークスルー(※1)を生み出すこと。

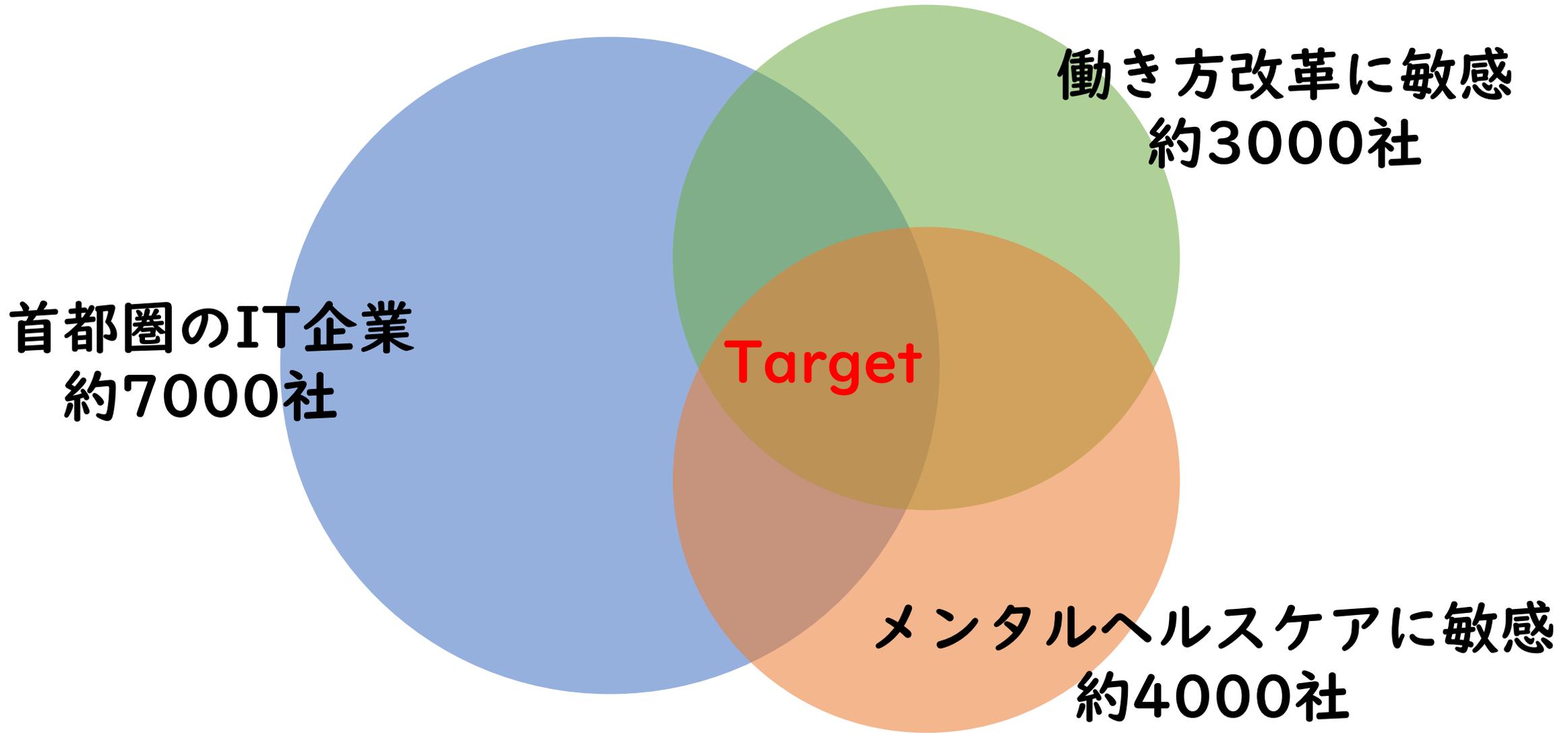
働く人それぞれがマインドフルネス(※2)に気づき、個性やパフォーマンスの最大化とコミュニケーション・モチベーションの向上させること。

(※1) 従来の考え方の枠を大きく打ち破った考え方で解決策を見出すこと

(※2) いまこの瞬間に意識を向けてあるがままの自分に気づくこと

お客様(マーケット)

事業所や団体 および 事業所内個人





課題① 生産性向上

- 『働き方改革』
- テレワーク導入
- チームビルディング

課題② 健康経営

- メンタルヘルスケア対策
- 離職率の軽減
- 自社社員の医療費負担額の削減

サービス内容

以下のすべての要素を含む松江での滞在パッケージの全体企画・コーディネート

快適に働く・泊まる場所



アクティビティ



各種企業研修・企画



地域交流・マッチング



地域食材や健康になる食

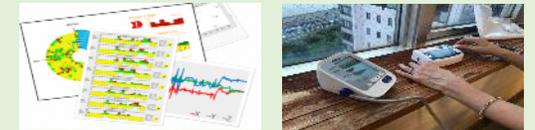
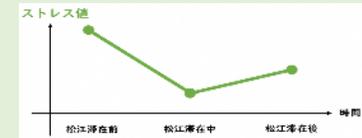


観光・歴史文化に触れる



松江にしかないサービス要素

ストレス値の計測・分析

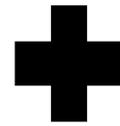


松江にしかないサービス要素

滞在型 パッケージ

テレワーク検証
ストレス検証
企業研修型
など

目的別メニューの拡充



ストレス サイエンス

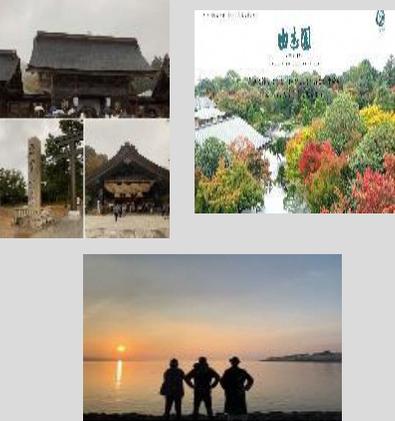
国立島根大学との共同研究
による“ストレスの見える化”

「松江に滞在すればストレス値が
下がる」を2019年に実証済み

work@matsue 3泊4日基本パッケージ案

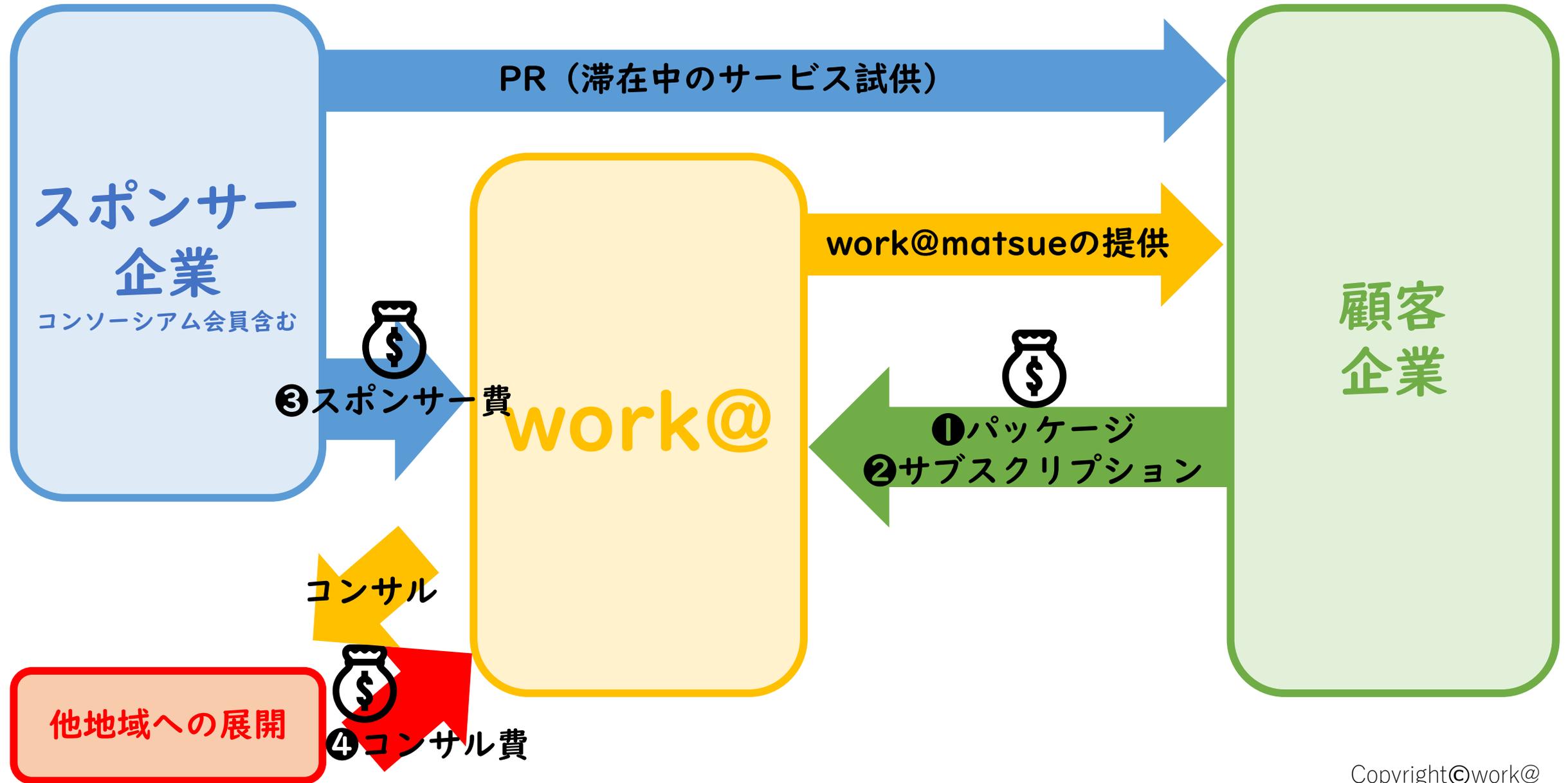
Confidential

通常通り快適に働ける場所・通勤時間なし・適度な運動・研修・地域交流・各種研修・ストレス値の計測 などのパッケージです。

Day 1 (水)	Day 2 (木)	Day 3 (金)	Day 4 (土)
ストレス値の計測 			
オリエンテーション	自然の中でアクティビティ 		観光・フリー 
自然を感じられる快適な環境で 通常通りのお仕事 			
ストレス値の計測 			
夕食交流会 	ストレスマネジメント 研修など 	夕食(地元料理) 	セルフマネジメント マインドフルネス瞑想 
快適に滞在できる宿泊施設 			

ビジネスモデル

Confidential



サービス価格（予定価格）

① パッケージ

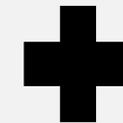
work@matsue 3泊4日基本パッケージ

- ・ 宿泊、ワーキングスペース、アクティビティ
各種研修、交流会1回、ストレス計測パッケージ
コーディネート代など一式
- ・ 交通費・食事代は除く
- ・ 内容に応じて別途アレンジ料金が必要になる
場合がございます
- ・ 1グループ8名以上10名まで

予定価格※
15万円/人

② サブスクリプション

年会費
20万円/社

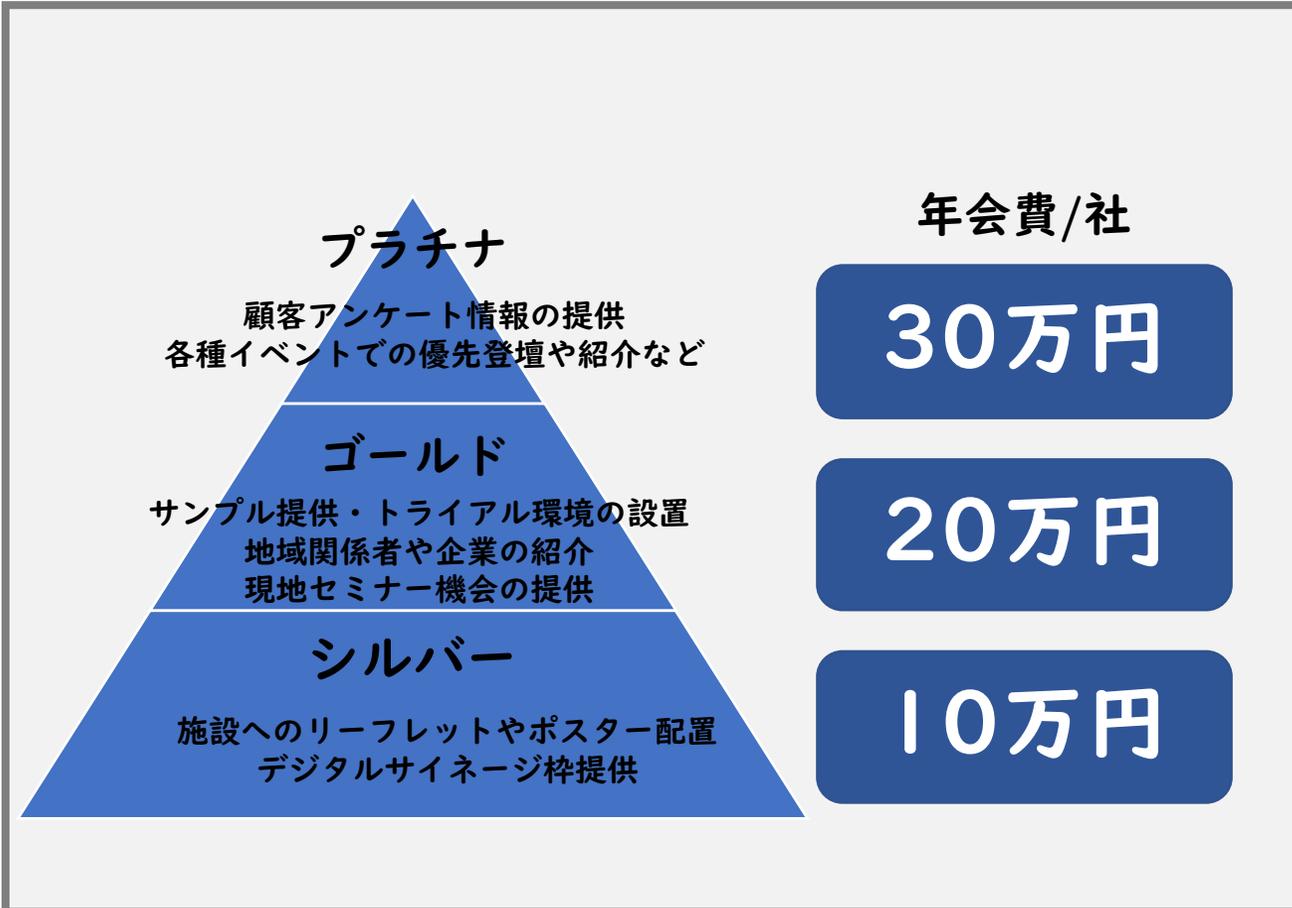


予定価格
12万円/人

- ・ 複数グループの受入れも可能

※ 予定価格は暫定価格です。価格が変更になる可能性があります。
初年度はモニター割引価格で提供予定です。
個人版ふるさと納税での支払いも可能予定です。

③ スポンサー

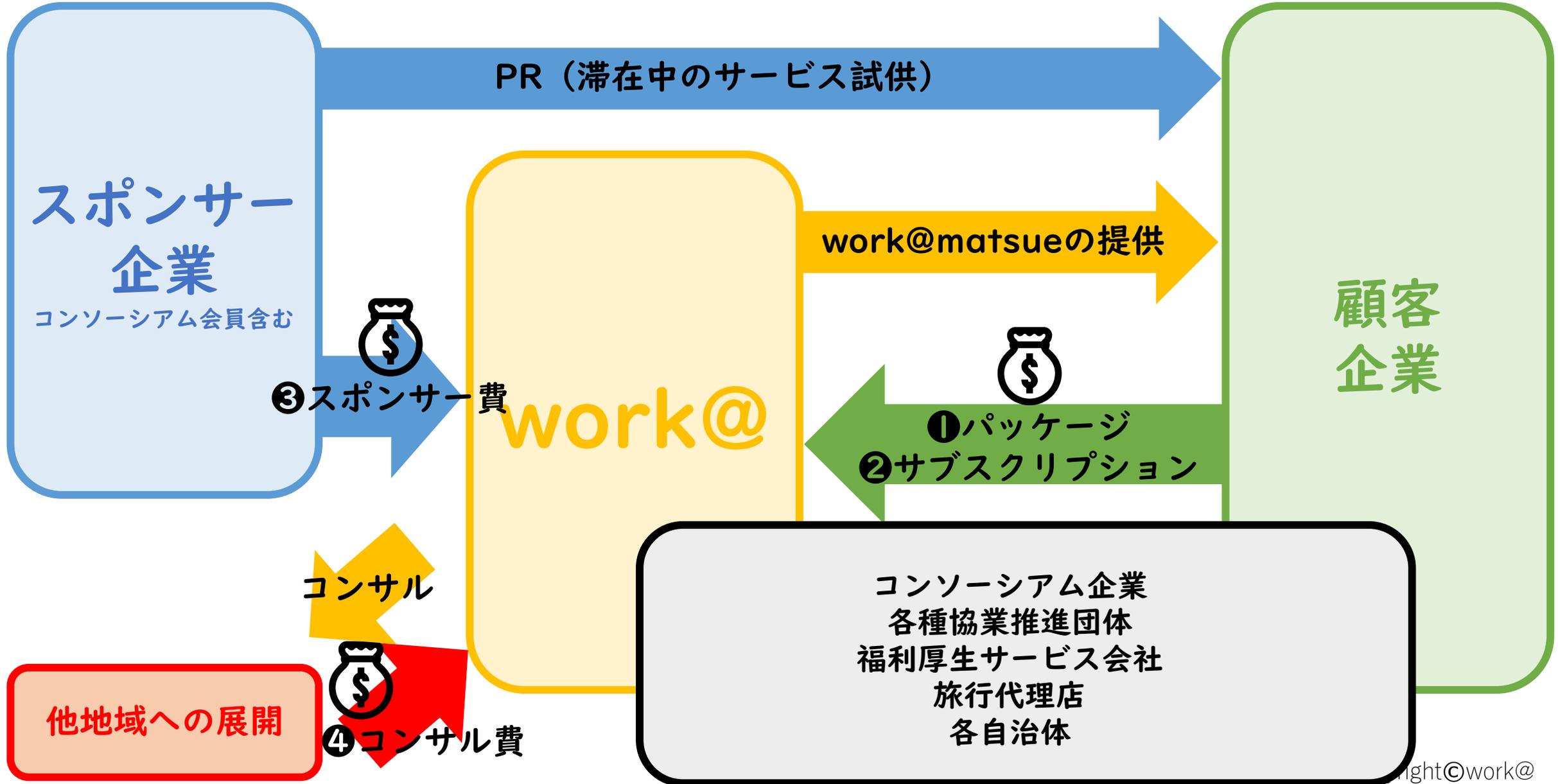


④ コンサル（今後展開）



協業パートナー

Confidential



3年で70社560名サービス展開予定

